

## 2023年6月 旅行取扱高状況報告

< 日本国内における旅行区分別 >

(単位：千円)

区 分	取 扱 高	前年同月取扱高	前年同月比	2019年同月取扱高	2019年同月比
海外旅行	16,579,527	3,059,961	541.8%	28,778,830	57.6%
国内旅行	4,352,340	3,023,032	144.0%	3,845,575	113.2%
訪日旅行	741,610	20,861	3,554.9%	2,712,666	27.3%
合 計	21,673,478	6,103,855	355.1%	35,337,073	61.3%

※株式会社エイチ・アイ・エス及びグループ 5 社（株式会社オリオンツアー、株式会社クオリタ、株式会社クルーズプラネット、株式会社ジャパンホリデーtravel、株式会社エイチ・アイ・エス沖縄）の社内取引を相殺した旧会計基準の取扱高となります。また、コロナ以前と比較をするため、2019年同月比を記載しております。

### ■ 海外旅行

5月に新型コロナウイルスが感染症法上で5類引き下げとなり、燃油サーチャージが下降する中、引き続き HIS ではスーパーサマーセールを通じてレジャー需要の創出に努めてまいりました。6月出発の送客数においては、前月比2割増で推移するなど、4月以降、月を追うごとに増加いたしました。人気の韓国行きにおいては、幅広い年代の女性層を中心に2019年同月比の送客数において76%まで回復しております。取扱高においては、ヨーロッパ方面とハワイが全体を牽引しており、主にシニア層のご夫婦と、20代のハネムーンより需要の回復がみられました。

以上の結果、海外旅行取扱高は、前年同月比541.8%、2019年同月比57.6%の165億7,952万円となりました。

### < 海外旅行取扱高 方面別・商品別・チャネル別データ >

方面別	2019年同月比
アジア	56.6%
オセアニア・南太平洋	74.6%
ハワイ・ミクロネシア	37.1%
欧州・中近東・アフリカ	70.0%
北米・中南米	70.5%

商品別	2019年同月比
手配旅行	60.8%
企画旅行	49.5%

チャネル別	2019年同月比
店舗	49.2%
オンライン	79.1%

### ■ 国内旅行

6月出発の取扱高は、全国旅行支援の駆け込み需要があり2019年同月比において6ヶ月ぶりの二桁増となりました。強化方面である沖縄・北海道のレンタカー付プランをはじめとする付加価値をつけたツアー商材が好調に推移しており、取扱高を牽引しました。また、国内バスツアーにおいては、学生～30代のお客様が2019年同月比で190%と大幅に伸びており、旬のさくらんぼ狩りを中心に、紫陽花鑑賞やホテル鑑賞など季節感のあるツアーが好調に推移しました。

以上の結果、国内旅行取扱高は、前年同月比144.0%、2019年同月比113.2%の43億5,234万円となりました。

### ■ 訪日旅行

欧米からの団体旅行が引き続き取扱高を牽引しました。また、自治体との連携として、タイや韓国などの OTA・旅行会社にもつた鹿児島県ファミツアーを実施するなど、新たな FIT 向け商品開発に努めました。グループ会社であるジャパンホリデーtravelでは、世界有数の山岳観光地である立山黒部アルペンルートへの団体旅行・FIT 旅行の受け入れ強化を図りました。中国マーケットにおいては、一部の団体インセンティブツアーが動き始めているものの、市場と同様に本格的な中国からの受客が戻っておらず、大幅な回復には至っておりません。

以上の結果、訪日旅行取扱高は、前年同月比3,554.9%、2019年同月比27.3%の7億4,161万円となりました。

2023年6月の日本国内における旅行取扱高合計は、前年同月比355.1%、2019年同月比61.3%の216億7,347万円となりました。

## 2023年6月 海外における旅行取扱高状況報告

< 海外における旅行区分別 >

(単位：千円)

区 分	取 扱 高	前年同月取扱高	前年同月比	2019年同月取扱高	2019年同月比
インバウンド	10,839,940	4,566,567	237.4%	17,673,490	61.3%
アウトバウンド	11,951,382	9,440,307	126.6%	13,239,214	90.3%
合 計	22,791,323	14,006,875	162.7%	30,912,704	73.7%

※海外におけるインバウンドとは、各海外拠点における旅行受客業務の取扱高。 海外におけるアウトバウンドとは、各海外拠点における旅行送客業務の取扱高

※エイチ・アイ・エス海外現地法人 35 社と海外子会社 (MIKI グループ、カナダ 3 社「Merit Travel」、「Jonview Canada」、「Red Label Vacations」) の社内取引を相殺前の旧会計基準の取扱高参考値 (ツアー商品は、「進行日」、手配旅行は「手配完了日」) の速報値となります。また、コロナ以前と比較をするため、2019 年同月比を記載しております。なお、為替換算レートにつきましては、期中平均為替レートにて算出しております。

### ■ 海外インバウンド

カナダを拠点に欧州からの受客を中心にインバウンド事業を展開している子会社「Jonview Canada」は、カナダで続く山火事の影響により、一部予約のキャンセルがあったものの、2019 年同月比 116%と堅調に推移し取扱高を牽引しました。日本からの受客がメインの HIS 海外現地法人では、個人自由旅行の増加やパッケージツアーのニーズが段階的に高まったこともあり、韓国やイタリアでは 2019 年同月比で 9 割の回復、フランス・ドイツにおいては 2019 年同月比を上回るなど、好調に推移しました。しかしながら、全体的には日本からの受客が 2019 年水準にはまだ届いていないことから、回復には至っておりません。

以上の結果、海外インバウンド取扱高は、前年同月比 237.4%、2019 年同月比 61.3%の 108 億 3,994 万円となりました。

### ■ 海外アウトバウンド

カナダにおいてオンライン旅行販売とホールセラー事業を展開する「Red Label Vacations」では、本格的なサマーシーズンを迎え、旅行需要が大幅に拡大したことを受け、2019 年同月比 105%と取扱高を牽引しました。また、主に北米においてロイヤリティプログラムを展開する「Merit Travel」においても、2019 年同月比同水準まで回復しております。

ローカルのアウトバウンド事業を行う HIS 海外現地法人においては、トルコ法人が、現地企業の業務渡航を中心に好調に推移したことで、2019 年同月比 222%と大幅な伸びをみせました。東南アジア (インドネシア・タイ・シンガポール)、中南米 (メキシコ・ブラジル) においても、主に現地企業や日系企業の業務渡航需要の獲得に努めました。

以上の結果、海外アウトバウンド取扱高は、前年同月比 126.6%、2019 年同月比 90.3%の 119 億 5,138 万円となりました。

2023 年 6 月の海外の旅行事業取扱高合計は、前年同月比 162.7%、2019 年同月比 73.7%の 227 億 9,132 万円となりました。

#### 本件に関するお問い合わせ先

株式会社エイチ・アイ・エス      I R室：050-1746-4188  
 広報室：050-1746-4177